

保護者向け資料 ～GIGAスクール構想の実現に向けた本市の取組をご紹介します～

野田市ICT教育だより

未来をひらく

第1号
令和2年12月14日
野田市教育委員会
指導課 発行

野田市立小・中学校でも

「GIGAスクール構想」がはじまっています

「GIGAスクール構想」を実現するためには、日々子どもたちを支えてくださっている保護者の皆様のご理解・ご協力が何より大切となります。教育委員会では、保護者や市民の皆様に向けて、野田市ICT教育だより「未来をひらく」を発行し、本市における取組を数回にわたってご紹介いたします。

★ GIGA*1 スクール構想とは…

児童生徒に1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、特別な支援を必要とする子どもたちを含めて、多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育ICT*2環境を実現することを目的としています。

これまでの教育と最先端のICTを相互に活かすことによって、主体的・対話的で深い学びのある授業へと充実を図るものです。

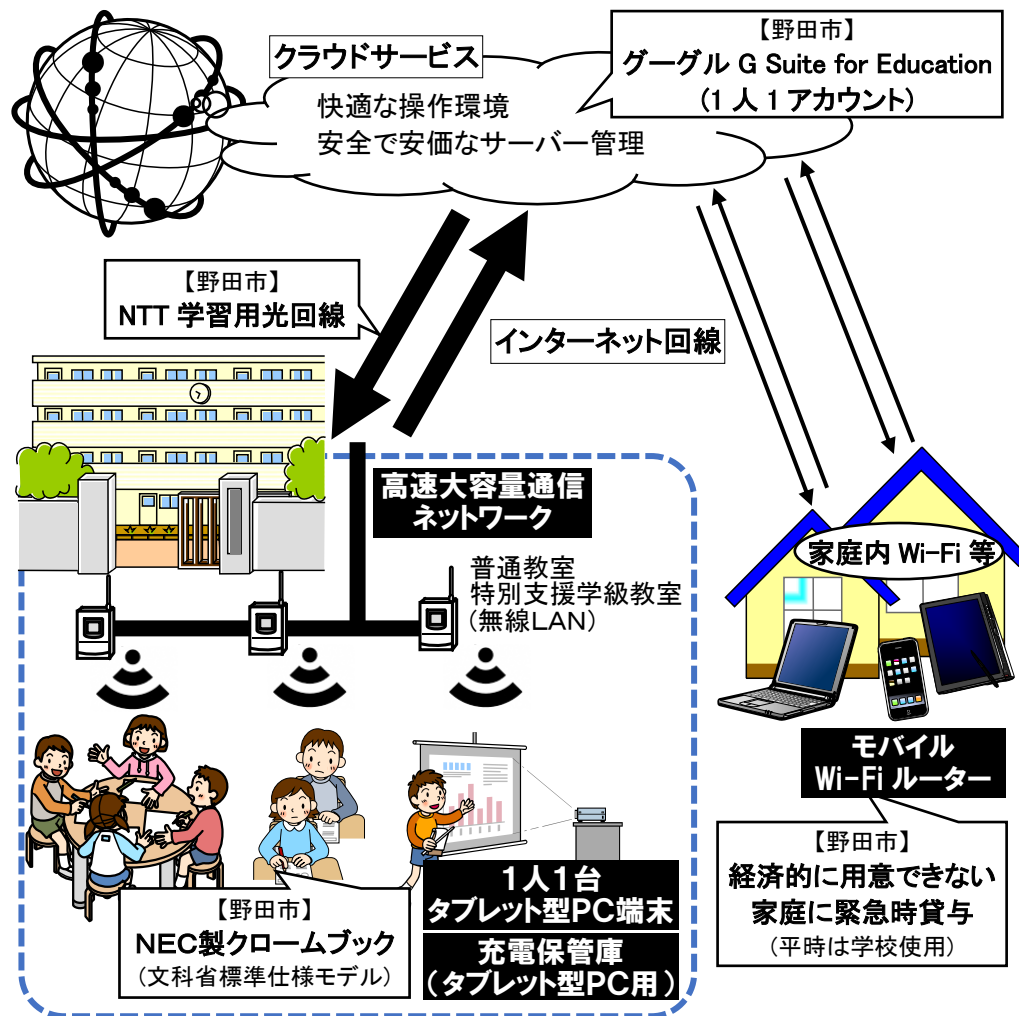
これからの時代に生きる子どもたちにとって、PCやタブレット端末は、鉛筆やノートなどと並んで欠かせない道具となることが予想されます。

ICT（情報通信技術）環境の整備が目的ではありません。ICTを子どもたちが学びを深めるための「手段・道具」とすることが大切と考えています。



*1 GIGA(ギガ) = Global and Innovation Gateway for All の略

*2 ICT(アイシーティ) = Information and Communication Technology の略



当初は令和5年度末までに段階的に整備を進めることになっていましたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大を受け、文部科学省は大幅に前倒しをして整備を進めています。

野田市では、今年度中に「学校内外の高速大容量通信ネットワーク」「充電保管庫」「児童生徒数2/3のタブレット型PC端末」「モバイルWi-Fiルーター」「クラウド型学習パッケージアカウント」の整備を完了する予定です。

野田市導入 タブレット型PC端末は…



ノートPCスタイル



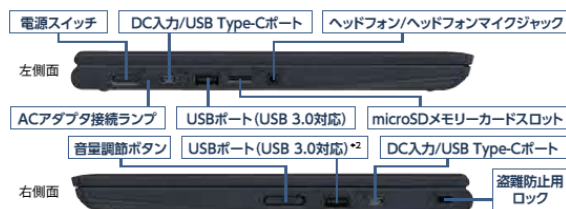
テントスタイル



スタンドスタイル



タブレットスタイル



「Chromebook Y2」は、国産メーカーNECが販売する文部科学省標準仕様モデル*3の1つです。

野田市では、学校生活の様々な場面を考慮し、壊れにくい構造の製品を採用しました。

小学校低学年児童であっても、壊すことを極端に気にせず、まずは繰り返し使うことで、取扱いに慣れ親しませることができます。

本体は360°回転するディスプレイで、学習内容や学習形態に応じて4つのスタイルで利用することができます。

■外形寸法(突起部含まず)
294.6(W)×209.6(D)×20.4(H) mm

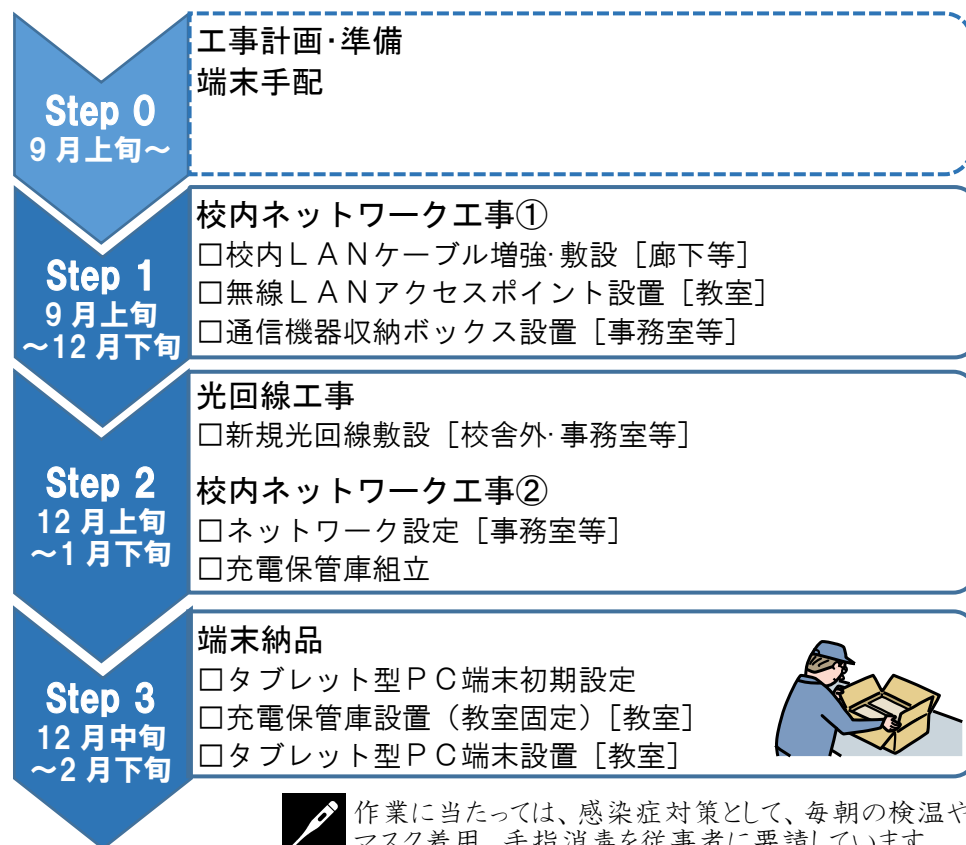
■質量(バッテリー含む)
約 1.276 kg

*3 標準仕様モデル=文部科学省が令和元年12月現在の技術的な仕様等をもとに、学校の実情を踏まえた安価に環境を整備するためのモデル例として示したもの

野田市導入 整備スケジュールは…

現在、学校ごとに順次進めています。早い学校では1月中旬から、遅い学校でも2月下旬には整備が完了し、タブレット型PC端末の運用(児童生徒3分の2相当数)が始まります。あわせて1人1アカウントを付与することで、どの端末であっても自分の設定として使用することが可能になります。

今後、令和3年度中に追加購入し(児童生徒3分の1相当数)、全児童生徒分の端末が揃った学習環境での運用となります。



作業に当たっては、感染症対策として、毎朝の検温やマスク着用、手指消毒を従事者に要請しています。

使用開始



野田ICT教育だより「未来をひらく」は
野田市公式ホームページにも掲載しています

